

# G S I C r e o s

## S D G s 推 進 に 向 け た 取 り 組 み



2021.7

# 目次

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| 1. アンケート調査                | P3~5   |
| 2. SDGsに関連する既存事業          | P6~12  |
| 3. SDGsに関連する今後の事業の可能性     | P13~15 |
| 4. 考察、提案およびGSIのサステナブルビジョン | P16~19 |
| 5. 用語集                    | P20~21 |

# 1. アンケート調査

## <工業・繊維各営業部門に対してSDGs関連事業についてのアンケート調査を実施>

### ○ 質問事項 ○

1. 現在SDGsの17目標（169のターゲット）に関わる事業や取り組みが有るか否か。
2. 現在取り組んでいるSDGs関連事業が有る場合の具体的な内容。
3. 今後のSDGs関連事業の実施の予定について。
4. 可能性のあるSDGs関連事業の具体的な内容。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# <集計結果>

## 現状の事業に該当するSDGs

### 繊維製品事業部門



ファイバー部  
マテリアル部  
テキスタイル部



ファイバー部  
テキスタイル部



マテリアル部  
テキスタイル部



マテリアル部  
ファイバー部  
テキスタイル部



ファイバー部  
テキスタイル部



テキスタイル部

### 工業製品事業部門



化粧品部



機材ソリューション部  
化成品部



化粧品部



ナノテク室



機材ソリューション部  
化成品部、化粧品部  
機能プラスチック部



機材ソリューション部  
化成品部、ナノテク室  
半導体エレクトロニク  
ス部



化成品部、化粧品部  
機能プラスチック部



化粧品部

## 今後の事業に該当するSDGs

### 繊維製品事業部門



テキスタイル部



ファイバー部  
テキスタイル部



マテリアル部  
テキスタイル部



マテリアル部  
ファイバー部  
テキスタイル部  
ライフスタイル部



ファイバー部  
テキスタイル部



テキスタイル部

### 工業製品事業部門



化粧品部



機材ソリューション部  
化成品部



化粧品部



ナノテク室



ナノテク室



機材ソリューション部  
化成品部、化粧品部  
機能プラスチック部  
ホビー部



機材ソリューション部  
化成品部、ナノテク室  
半導体エレクトロニク  
ス部



化成品部、化粧品部  
機能プラスチック部



化粧品部



## 2. SDGsに関連する既存事業



## GOAL 1

あらゆる場所で、あらゆる形態の**貧困**に終止符を打つ

### フェアトレード製品の取り扱い

- ・発展途上国において公正な賃金の支払い、労働環境の管理、環境保護を考慮した生産であることを証明するFair For Life認証を取得している商品をフランスのOLVEA社から輸入し販促している。（香粧品部）



## GOAL 3

あらゆる年齢のすべての人々の**健康的な生活**を確保し、**福祉**を促進する

### Bluesign・GRS加入

- ・Bluesign・GRS（環境負荷低減、労働環境管理、有害物質不使用）に加入することで生産者・消費者の健康被害を低減する生地を生産および供給を支援している。（マテリアル部・ファイバー部・テキスタイル部）

### 障がい者の雇用機会の創出

- ・「お茶の実」の採集を障がい者の方々をお願いすることでインクルーシブな雇用機会を創出している。（マテリアル部）

### 南米において透析治療に貢献

- ・東レメディカルの人工透析装置をブラジルを主とした南米を輸出することにより、南米での透析患者に最先端の治療を提供している。（機材ソリューション部）

### 揮発性有機溶剤不使用の塗料取り扱い

- ・水系原料を販売し、水系塗料・接着剤を普及させることで、大気汚染要因である揮発性有機化合物の削減に貢献する。  
サトウキビ由来のバイオベース原料を使って糸を作ることで石油由来の原料を使うことによる環境破壊を低減させる。（化成品部）



## GOAL 6

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

### 汚染水を排出しない生産環境に貢献

- ・ 着色チップを紡いだ原着ナイロンの取り扱いによって染工場の污水排水量の低減に貢献。（ファイバー部）
- ・ Bluesign認証取得の生地のお取り扱いおよび排水規制を実施している生地加工工場での生産促進。（テキスタイル部）
- ・ 羊毛の洗浄に塩素等の薬剤を使用しないウルグアイウールを取り扱っている。（マテリアル部）
- ・ 加工にバイオ（微生物）素材を使用した糸を取り扱っている。

従来、糸の加工に薬剤が使用されていたが、バイオ加工では薬剤の代わりに特殊な酵素を使用するため、排水に含まれる汚染物質が抑制される。  
（テキスタイル部）

### 飲用水/真水を利用しない製品の取り扱い

- ・ SEPPIC社の海藻水やResPharma社のシルク水など、真水を利用しない製品を取り扱うことで化粧品生産で懸念されている、水の過剰利用の抑制に貢献。（化粧品部）



## GOAL 8

生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

### Bluesign・GRS加入により労働衛生が管理されている工場を支援

- ・ Bluesign及びGRSに加入することで、労働衛生および安全性を整備している工場を支援している。（テキスタイル部）





## GOAL 9

強靱なインフラ構築、持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

### ナノテクトで中東地域のインフラ設備の耐久化に貢献

- ・ボルトやナットをナノテクトで表面処理することで、過酷な環境下でも飛躍的な防錆性能・耐久性を発現できるため、環境負荷を低減しながらプラントの長寿命化に貢献できる。（ナノテク開発室）



## GOAL 12-1

持続可能な生産および消費形態を確保する

### サステナブル原料の取り扱い

- ・副産物であるお茶の実を再利用してオイルを抽出し、セルロース繊維に練りこんだ素材の調達から販売までを行っている。（マテリアル部）
- ・生分解性素材である旭化成ベンベルグやオーミケンシのレーヨンの販売を促進している。（ファイバー部）
- ・リサイクル素材など環境負荷低減素材の販売を促進している。（マテリアル部、ファイバー部、テキスタイル部）
- ・繊維強化プラ工場で洗浄剤として使用されるアセトンの代替品となる環境配慮型洗浄剤を販売することで持続可能な生産の実現に貢献する。（機材ソリューション部）
- ・For Life認証を取得している企業であるOLVEA社の原料や、EVONIK社のRSPO認証取得原料を取り扱い、化粧品会社に供給することで持続可能な生産を支援している。（香粧品部）
- ・ユニコーン社（マレーシア）製リサイクルプラスチックを販売している。（機能プラスチック部）
- ・サーキュラーエコノミーをコンセプトとするブランドを立ち上げ、サステナブルな商品を販売している。（ライフスタイル部）



## GOAL 12-2

持続可能な生産および消費形態を確保する

### 生分解性樹脂の取り扱い

- ・生分解性樹脂の販売、およびモルダーと協働することで、メーカーの持続可能な生産および企業・消費者問わず持続可能な消費の普及に貢献している。（化成品部、機能プラスチック部）

### 環境負荷低減に努めている工場での生産促進

- ・Bluesign・GRS加盟工場など環境負荷低減に努めている工場での生産を促進している。（マテリアル部、ファイバー部、テキスタイル部）



## GOAL 13-1

### 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

#### エコカー関連製品の取り扱い

- ・ フィラメントワインディング機（車載用水素ガス容器を成形する設備）を販売している。  
燃料電池自動車の販売台数が増えればCO2削減に貢献できる。（機材ソリューション部）
- ・ カラーフォーム設備を販売している。  
プラスチック成形から塗装まで一貫して行うこと、塗装の前処理や乾燥、工程検査など複数の作業が不要になることから、  
トータルでのエネルギー消費量が低下する。（機材ソリューション部）
- ・ 燃料電池自動車の基幹部品である電極の貴金属触媒にカルベールを使用することで効率的に作用できる。  
レアメタル量を減らせることで燃料電池自動車の生産コストカットに貢献する。（ナノテク開発室）
- ・ 熱可塑樹脂にカーボンナノチューブを充填することで強度、弾性率、靱性を向上させることができ、さらに軽量であるため、  
自動車パーツやバイク等に使用することで軽量化が可能となる。（ナノテク開発室）
- ・ エコカーなどに採用される省エネ半導体製造に関係する部材の販売している。  
製品例：SiCコーティング（Xycarb社）、金メッキ再生（Gold Tech社）（半導体エレクトロニクス部）



## GOAL 13-2

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

### 環境配慮型塗装設備の取り扱い

- ・プラスチック成形から塗装まで一貫して作業できるカラーフォームの販売促進をすることで、メーカーの塗装時のエネルギー消費量の低減に貢献する。  
また、使用されている塗装には溶剤が使用されていないため温暖化や環境汚染の抑制にも貢献する。（機材ソリューション部）

### 揮発性有機溶剤不使用の原料取り扱い

- ・水系原料を販売し、水系塗料・接着剤を普及させること、サトウキビ由来のバイオベース原料を使って糸を作ることで温室効果関連ガスである揮発性有機化合物の削減に寄与する。（化成品部）
- ・環境配慮型洗浄材を販売している。  
FRP工場で頻繁に使用されるアセトン（揮発性有機溶剤）代替として使用されるので、環境負荷低減に貢献できる。（機材ソリューション部）

### CO2排出の少ない原料の取り扱い

- ・通常、羊毛を洗浄する際に、お湯を沸かすためにボイラー燃料に石油系燃料を使用せずユーカリを使用しているウルグアイウールを取り扱うことで、CO2排出量の削減に貢献する。  
ユーカリは燃焼効率が非常に高い上に、生育が極めて早く、カーボンオフセット（CO2排出削減）となる。（マテリアル部）



## GOAL 14

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

### 漁網をリサイクルしたナイロンの取り扱い

- ・ 不要な漁網を回収し溶かして再利用しているリサイクルナイロンを取り扱い、販促をすることで、海洋廃棄物の削減に貢献する。  
(ファイバー部、テキスタイル部)

### 生分解性樹脂の取り扱い

- ・ 海中でも生分解される樹脂の販売促進をすることで、大きな問題であるマイクロプラスチック削減に貢献する。  
(化成品部、機能プラスチック部)

### 細胞培養技術から生まれた海藻エキスの取り扱い

- ・ 自然の海藻を乱獲することなく、海藻の培養技術によって採取された海藻エキスを販促することで海洋環境保護に貢献する。(香粧品部)



## GOAL 15

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営を促進する。

### 森林保護の促進

- ・ 森林に囲まれた茶園で生産された原料を使用。放棄茶園を抑止し、森林保護につながる。(マテリアル部)

### 森林認証取得セルロース系繊維の取り扱い

- ・ FSCやPEFC、SGEC等の森林認証を取得しているセルロース系繊維を販促することで森林保護に貢献する。(テキスタイル部)

### RSPO認証取得原料の取り扱いおよびRSPOメンバー登録

- ・ RSPO認証取得のパームオイルの取り扱いおよび、RSPOのメンバーに登録することで熱帯林の保護に貢献する。(香粧品部)

### **3. SDGsに関連する今後の事業の可能性**

## ①既存事業の維持、発展

既存のサステナブル事業を継続し、販売促進を発展させていく。

対象部署

### 繊維事業部門：

マテリアル部、ファイバー部、テキスタイル部



ライフスタイル部、アパレル部、ボディファッション部


### 工業製品事業部門：




機材ソリューション部、半導体エレクトロニクス部、化粧品部、


化成品部、機能プラスチック部、ナノテクノロジー開発室


## ②ポテンシャル事業 (該当ゴール 3/6/7/12/13)

-  6 きれいな水と衛生
-  12 つくばない、かき減らす
- ・無水染色、無水プリント等商材を販売促進する。
- ・SDGsの趣旨に則り各主要メーカーと連携して商材の開発をする。
- ・バイオマス素材の開発及び販売促進をする。 (マテリアル部、ファイバー部、テキスタイル部)

-  12 つくばない、かき減らす
- ・ポリプロピレン素材 (PP) を100%使用したユニフォームを開発し、廃棄後も植木鉢等にリサイクルしやすいシステムを構築する。 (ライフスタイル部)

-  12 つくばない、かき減らす
-  3 健康で長生きできる
-  13 気候変動に具体的な対策を
- ・自社商品の容器包装等の回収および再利用システムを構築する。
- ・商品に含有される化学物質原料使用を軽減する。 (ホビー部)

-  7 持続可能なエネルギー
- ・屋外、屋内におけるあらゆる光源を採取して電力を得る有機太陽電池向けの基幹高分子材料を取り扱うことで省エネで発電できるシステムの普及に貢献する。 (ナノテク開発室)

-  12 つくばない、かき減らす
- ・リサイクル素材など環境負荷低減素材の販売を促進する。 (マテリアル部、ファイバー部、テキスタイル部、アパレル部、ボディファッション部)

-  12 つくばない、かき減らす
- ・FSC認証の取得 (マテリアル部)



## 4. 考察および提案

# ①アンケート結果の傾向

各部署のアンケート結果から、商社としてどのようにサステナビリティに貢献できるのか考察した。

- サステナブル企業の製品を積極的に採用する。国際認証取得等を基準にして判断する。
- 環境配慮製品が普及しやすいマーケットを構築。（機能プラ・化成品事例参考）
- 環境配慮関係のパートナーシップに部署単位等で加盟。（化粧品RSPO、テキスタイルBluesign事例参考）
- 環境配慮型の工場と提携および生産促進。（テキスタイル事例参考）
- サステナブルを推進しているメーカーとの連携による製品開発。

## ②他企業の事例

- 日鉄物産 <https://www.nst.nipponsteel.com/sustainability/environment/business.html>

→ グリーン物流の取り組み 環境配慮製品の輸入、販促

- 長瀬産業 <https://www.nagase.co.jp/csr/>

“2018年度を「ESG元年」と称し、社内勉強会の実施から初歩的な言葉の浸透活動、ESG関連活動の総点検などを実施してきました。SDGsの達成に向けた「水リスクへの対応」「気候変動対策」「生物多様性」も徐々にではありますが、取り組みを始めました。” IRレポートより

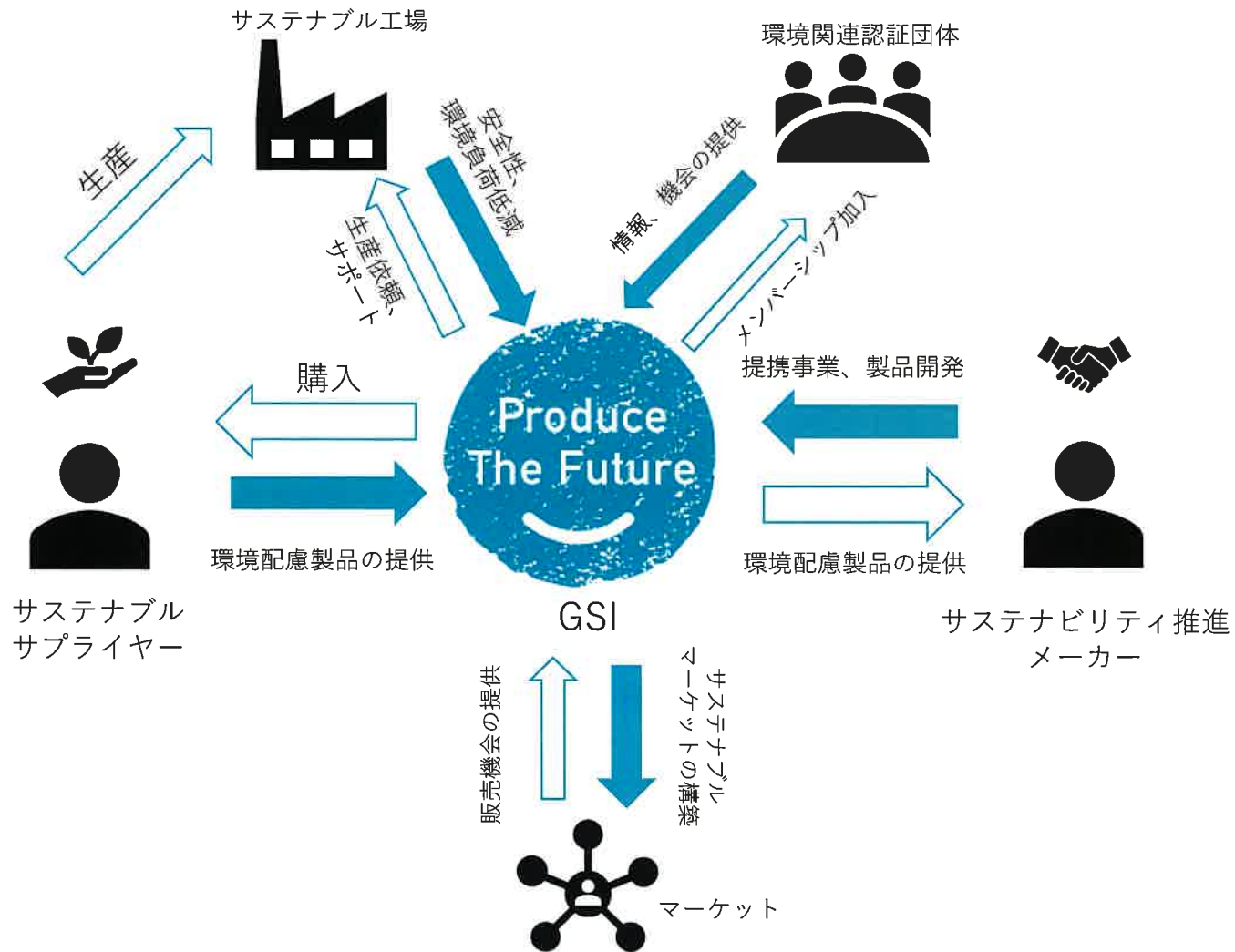
- 豊島 <https://www.toyoshima.co.jp/csr/project/>

Orgabits-オーガニックコットンの普及PJ フードテキスタイル - メーカーと提携して製品開発

## ③提案

- CSRやサステナビリティに賛同している企業は、CSRレポート等を作成し、公開している。  
そのため当社もレポート作成や、HP上での情報公開をする必要があるのではないか。

# GSIとサステナビリティ（イメージ図）



## 5. 用語集

## • Bluesign認証

ブルーサイン（Bluesign）とは、繊維業界において環境、労働、消費者の観点における持続可能なサプライチェーンを経た製品に付与される認証である。世界で最も厳しい基準と言われており、その認証を受けることで、世界最高レベルの消費者の安全や労働者と環境への最小限の影響、資源の節約、これらを証明することができる。

(<https://sustainablejapan.jp/2017/02/19/bluesign/25779>)

## • G R S 認証（Global recycled standard）

GRS は、リサイクル含有物、加工流通過程管理、社会および環境慣行、および化学規制の第三者認証の要件を設定する、国際的で自発的な完全製品基準。

(<https://certifications.controlunion.com/ja/certification-programs/certification-programs/grs>)

## • Fair For Life認証、For Life認証

For Life認証の大本であるFair For Life認証は、ヨーロッパの有機認証を行っているECOCERTが統括している環境と人権を守るための基準である。すべての人に「尊厳のある生活」を求め、生産者と企業・従業員と雇用者・販売者と購入者の間のフェアで良好な関係を確立することを目指している。For Life認証は、Fair For Life認証の中でも、企業に与えられている認証である。

([https://www.fairforlife.org/pmws/indexDOM.php?client\\_id=fairforlife&page\\_id=home](https://www.fairforlife.org/pmws/indexDOM.php?client_id=fairforlife&page_id=home))

## • FSC認証（Forest Stewardship Council）

FSC認証は環境、社会、経済の便益に適い、きちんと管理された森林からの製品を目に見える形で消費者に届け、それにより経済的利益を生産者に還元する仕組みが構築されていることを証明する国際認証。木材製品に与えられる。

(<https://jp.fsc.org/ip-ip/2-new>)

## • SGEC認証（Sustainable Green Ecosystem Council）

2003年に、森林・林業・木材産業界に関連する諸団体のほかNGOや市民団体など各界各層から創設発起人を募り、参加団体の総意の下に国内認証制度として創設された。現在はPEFCに包括されている。

(<https://sgec-pefci.jp/sgec-pefc%e3%82%b8%e3%83%a3%e3%83%91%e3%83%b3%e3%81%a8%e3%81%af/sgec%e8%aa%8d%e8%a8%bc/sgec%e3%81%ae%e6%ad%b4%e5%8f%b2/>)

## • PEFC認証（Programme for the Endorsement of Forest Certification Scheme）

PEFC認証とは、各国の森林認証制度を相互承認していくプログラムである。認証適用範囲は全世界であるが、基準を各国で異なる。

(<https://sgec-pefci.jp/pefc>)

## • RSPO認証

持続可能な森林管理の下で生産されたパーム油であることを証明する国際認証。法令遵守や農園、工場への配慮、生産背景の透明性などが基本原理となっている。

(<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3520.html>)